

横浜市 看護職員 採用案内

YOKOHAMA



横浜市立市民病院
Yokohama Municipal Citizen's Hospital

横浜市立脳卒中・神経脊椎センター
Yokohama Brain and Spine Center

看護部長メッセージ

幅広い領域の看護が学べる環境で、共に学び共に育つ

市民病院は横浜市中核病院として、高度急性期医療及び政策的医療を提供しています。あらゆる健康レベルの患者さんに、短い入院期間の中での確かな看護を提供する中でも、患者さんの人格や尊厳を大事にした看護を心がけています。看護は頭(head)、心(heart)、手(hand)の3つの要素が一体となって生まれます。プロの看護師として、自らの頭で考え適切に判断し、倫理観を大切にしながら、確かな技術を提供していくことが必要です。幅広い領域の看護が学べる環境の中で、専門職としての倫理観を養い、主体的に学ぶ姿勢を持ち続けてほしいと思います。共に学び共に育つことを大切に、看護の仕事が楽しいと思える職場づくりを目指しています。

看護部
マスコットキャラクター
"こころ"



看護部理念

私たちは
健康のあらゆるレベルの患者さんに
真心と思いやりを込めた
安全な看護を提供します。



横浜市立市民病院
副院長 兼 看護部長
土屋 恵美子

安心して学ぶ・成長する・続ける

これからあなたが看護のプロとして、患者さんの心に寄り添い、質の高い看護サービスを提供していくことが患者さんにとって最適な医療サービスの提供へとつながっていきます。そのためには、看護師としてのクオリティを日々高め、信頼の看護を提供し続けられるよう、皆さんが働きやすく、働きがいのある環境づくりが大切だと考えます。横浜市立病院を活躍のステージに、あなたが抱く看護への想いを実現してください。



『YOKOHAMA NURSE』について

横浜市看護職員のシンボルマーク「YOKOHAMA NURSE」は、2羽のカモメが天空を自由に羽ばたく様子と看護の心をハート形で示しています。高い実践能力と看護に対する情熱を兼ね備えた横浜市の看護職員。それがあなたの自信と誇りにつながるよう願いを込めています。



看護部長メッセージ

急性期から回復期まで、患者さんの個々に寄り添う看護を実践

「私たちはその人らしさを大切にしたい看護を実践し、市民の「いのち」と「くらし」を支えます」という看護部理念のもと、24時間365日、急性期から回復期まで患者さん個々に寄り添った看護を実践しています。患者さんを尊重し、ニーズを捉え対応できるよう、看護師一人ひとりが専門職として幅広い知識や確かな技術を身につけていくとともに、倫理的感性を持ちながら、安心・安全な看護を提供できるよう、日々学び、成長し続ける看護部組織でありたいと思います。「患者は地域で暮らす生活者」ということを念頭に、多職種・地域医療機関等との連携を図り「その人らしい」生活の再構築を図れるよう支援しています。

看護部
マスコットキャラクター
"ライフ"



看護部理念

私たちは
その人らしさを大切にしたい
看護を実践し、市民の「いのち」と
「くらし」を支えます。



横浜市立脳卒中・神経脊椎センター
副院長 兼 看護部長
野中 麻紀



救急医療

24時間365日
救急症例に対応

高度急性期病院として、腹腔鏡下手術や先進医療など難易度の高い手術を1年間で約6,000件実施しています。手術1件1件を安全に実施するため、麻酔科医が常に患者さんのそばで麻酔と手術の進行をコントロールし続けています。新病院では手術室が9室から15室に増え、より高度な医療が提供できる環境が整いました。これまで以上に安全を保ちながら、早期に手術ができる環境を整えています。

入退院支援

入院前面談の実施による
安心した療養生活

看護師が入院前に面談を行い、入院生活に関する説明を行っています。患者さんが不安なく医療を受けられるよう、多職種と連携を図り、スタッフ全員がおもてなしの心で努めています。



地域連携

住み慣れた地域で
自分らしい
生活を続けられるよう支援

地域包括ケアシステムが構築されているなかで、高度急性期病院の看護師の役割は患者さんのADLの維持と、早期に地域に戻れるよう支援することです。患者さんやご家族の生活を、退院後は地域の医療・介護職員とともに支えています。



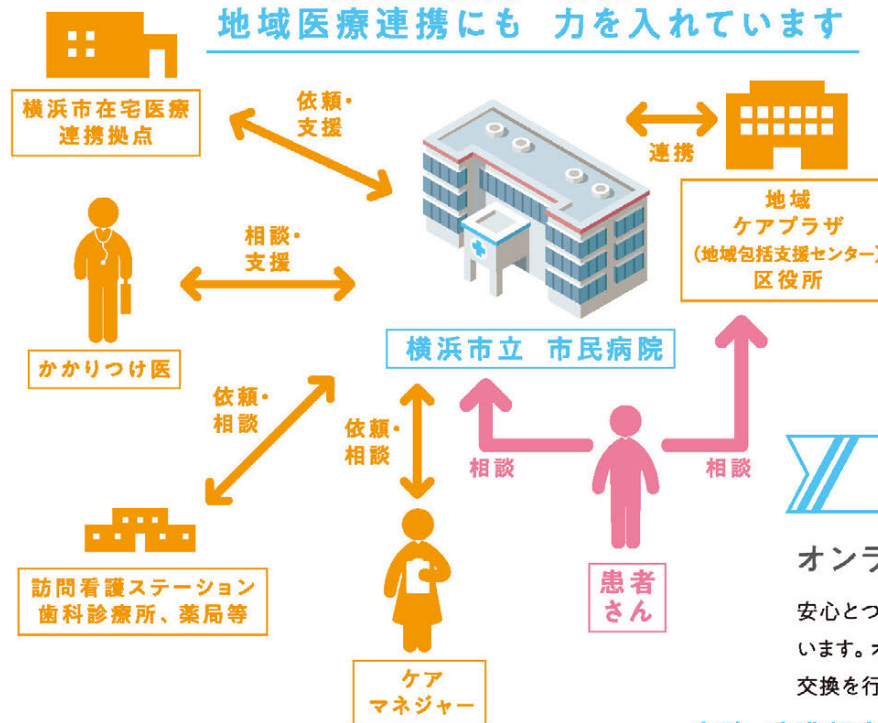
周産期

周産期救急 ハイリスク
妊産褥婦の管理を行う

地域周産期母子医療センターとして、産婦人科と小児科が一体的な対応をしています。自然分娩、母乳育児を推進し、完全母乳同室、助産師による母乳外来などのほか、スタッフの発案によるマタニティピクス、ベビーピクスなどに積極的に取り組んでいます。



高度急性期 病院として
地域医療連携にも 力を入れています



地域との交流

オンラインを活用した交流

安心とつながりの拠点として、地域関係機関と連携を図っています。オンライン環境を整備し、対面以外でも情報共有・情報交換を行い、生活の場である地域との交流を行っています。



病院・看護部案内

診療科	34科
病床数	650床 (うち感染症病棟26床)
部門構成	7階 緩和ケア病棟、感染症病棟、一般病棟 6階 一般病棟 5階 一般病棟 4階 周産期センター、一般病棟 3階 リハビリテーション、一般病棟 2階 手術室、血液浄化センター、HCU、ICU、GCU ほか 1階 予防医療、外来、患者総合サポートセンター、外来化学療法室 ほか 地下1階 救命救急センター、内視鏡、外来、放射線治療室 ほか

看護職員数	約780人
入院患者数	平均約591人/日
分娩件数	平均約97件/月
手術件数	平均約618件/月

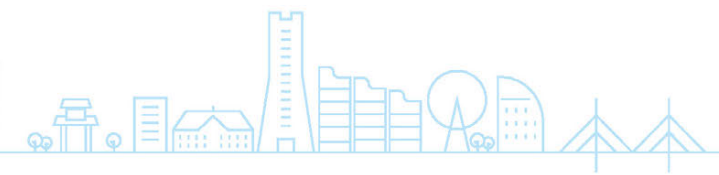


災害医療 — DMAT —

災害医療を
支えるために

2014年に神奈川県DMAT(災害派遣医療チーム)指定病院となり、災害発生時に迅速に出動できるよう、訓練を重ねています。また、DMATは広域防災訓練にも参加し、技能の維持向上に努め、院内の防災意識向上にも貢献しています。





新人研修スケジュール

入社から12ヶ月



輸液ポンプ・シリンジポンプ

初めて使用する医療機器、安全に使用するための基本的な知識と技術を、臨床工学技士より習います。



採血・静脈注射

採血や静脈注射について学びます。シミュレーターを使用した練習や研修生同士で実際に採血を行います。



食事介助と口腔ケア

口腔機能やケアの基本を学んだ上で、模型にて技術の習得を目指します。観察方法やブラシの使い方など、摂食・嚥下障害看護認定看護師から直接指導を受けます。



看護過程(基礎)

個別性を踏まえた質の高い看護を行うために、看護過程を学びます。収集した情報から患者さんをとらえ、グループワークを通して様々な視点から看護観を深めていきます。



PNS (パートナーシップ・ナーシング・システム)

2人の看護職員が、パートナーとして対等な立場で互いの特性を活かし、協力し合うことで、その成果と責任を共有する看護方式の事です。互いの違いを認め合い共に成長していくことができます。



新人看護師

私は地元から離れて県外への就職だったので、最初は新しい人間関係や環境に馴染めるか不安や緊張がありました。しかし、PNSを通じて先輩とペアで動けるため、分からないことをすぐに相談できる環境が心強いです。また、一人では気づけないことも、日々の看護業務で組むペア、そして年間を通したフレッシュパートナーの先輩からのアドバイスやフォローのおかげで解決できることが多く、それが自分の成長に大きく繋がっていると感じています。



フレッシュパートナー

PNS看護方式が始まって以来、指導だけでなく、自分が学ぶ機会も増えたように感じます。日々の看護業務のほか、年間パートナーとして1年間いろいろな業務を一緒に行っています。新しくできることが増えれば一緒に喜び、失敗したり悩むことがあれば一緒に改善策を考えるよう意識しています。患者さんに寄り添った関わりができるよう、一緒に努力していきましょう。



フレッシュパートナー

PNS看護方式はパートナーの看護師と一緒に業務を行うので、困ったときすぐに相談でき、安心して業務を行えると感じます。1年目の頃、何をすることも不安だった自分に優しく声をかけて指導してくださった先輩方はとても心強い存在でした。そんな先輩方のように、私も新人看護師さんが悩んでいるときや困っているとき、一番に気づいて声をかけることができるように心がけています。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています!





回復期リハビリテーション

入院生活のすべての場면을
リハビリテーションと捉える

主に脳血管疾患・脊椎脊髄疾患・整形疾患などの急性期治療が終了した患者さんを院内外から受け入れています。訓練や生活場面での関わりを通して「できるADL」を「しているADL」に拡大し、生活の再構築を行い在宅や社会への復帰につなげています。そのために多職種とチームを組み、意見交換を行いながら入院生活すべての場면을リハビリテーションと捉え、日常生活の動作がリハビリにつながるよう支援しています。



地域包括ケア

患者さんの個別性に合わせた
退院支援・調整が重要

脳神経疾患や脊椎脊髄・整形疾患などで急性期を脱した患者さんを院内外から受け入れ、一定期間内で地域での生活に戻れるように退院支援・調整を行っています。

患者さんの個別性に合わせた看護介入を実践するためには、医師、リハビリテーションセラピスト、薬剤師、管理栄養士、MSWなどの多職種連携は重要です。特に地域連携部門の看護師やMSWと協働し、患者さんやご家族の状況に応じて支援しています。



急性期

急性期における臨床判断能力や
退院支援における実践能力など
多岐にわたる看護が求められる

脳血管疾患の多くは突然発症するため、迅速な診断と治療が必要です。専門的な医療機器を備え、24時間365日、脳卒中診療が行える体制を整えています。また脳卒中の予防啓発活動など、横浜市における脳血管疾患医療の中心的な役割を果たしています。

脊椎脊髄・膝疾患では、骨粗しょう症、脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニア、脊椎側弯症などの疾患に対して専門医師による正確な診断のもと、適切な治療を展開しています。

看護師には脳血管疾患、神経難病などの疾患や患者の抱える既往歴に関する知識、フィジカルアセスメント能力、臨床判断能力、退院に向けたイメージなど、多岐にわたる看護実践能力が求められます。

現場では医師をはじめ、リハビリテーションセラピスト、薬剤師、管理栄養士、MSW、臨床工学技士など多職種との連携も重要です。看護師はその調整役として、患者さんやご家族の思いに寄り添う看護を提供しています。



病院・看護部案内

診療科	8科
病床数	300床
部門構成	西病棟 5階 回復期リハビリテーション病棟 4階 地域包括ケア病棟 3階 急性期病棟 東病棟 5階 回復期リハビリテーション病棟 4階 SCU(12床)/急性期病棟 3階 急性期病棟 2階 ICU(6床)/手術室 1階 外来診察室/地域連携総合相談室 地下1階 救急外来

看護職員数 | 約250人
入院患者数 | 平均約250人/日
手術件数 | 平均約89件/月





新人研修スケジュール

入社から12ヶ月



- 2-3年目**
- 院内留学研修 (他部署での経験学習)
 - 看護技術演習【静脈注射実施研修】
 - 臨床推論
 - 看護倫理
 - ケーススタディ

静脈採血

採血の手順を事前学習します。最初は腕モデルで実技練習してから、研修生同士で実際に採血を行います。看護師になった実感を感じるとともに、患者さんに確実に実施できるようにと気持ちも引き締まる研修です。



医療機器操作研修

臨床現場では多くの医療機器を扱うことになります。医療機器の構造から、始動、正しいセッティング、注射薬の流量の変更方法など、現場で戸惑うことなく使用できるように何度も繰り返し練習する研修です。



BLS研修

勤務中は、いつ患者さんの急変に遭遇するか分かりません。そんなときでもすぐに対応できるスキルを身につけます。安全に確実な処置ができるように、救急サポートチームの指導で、胸骨圧迫のコツ、注意点、AEDの操作方法などを学びます。



臨床判断【入門編】研修

患者さんに最適な看護を提供するために、臨床判断能力を高める必要があります。「先輩看護師のように考える」思考過程を学び、現場で先輩の支援を受けながら実践できるようになることを目指します。



PNS (パートナーシップ・ナーシング・システム)

新しい環境に適應し、リアリティショックを防止できるように、フレッシュパートナー・教育担当者はもちろん、部署や看護部全体が新人を見守ります。新人が自立するため、安心して学べる環境を整えています。

新人看護師

入社時は技術的にも未熟で不安でしたが、フレッシュパートナーには疑問点もすぐに相談できたので安心でした。焦る性格のため、ケアの際は深呼吸をして落ち着いて行うなどのアドバイスは、今も実践しています。教育担当者を行う振り返りは、成長できた点などプラスの部分伝えてくれるので、前向きな気持ちになりました。先輩たちは新人の成長を見守り、支えてくれる尊敬できる存在です。



フレッシュパートナー

声かけを常に心がけ、何気ない会話や表情から、現在の状況や悩みはないかなどを確認しています。初めから笑顔で患者さんにも真摯に対応していましたし、積極的に質問もしてくるので、順調に成長していると感じています。今後も患者さんの安全を第一に考えて、焦らず確実にケアに取り組んでほしいと思います。指導することを通じて、私たちも一緒に成長しています。



教育担当者

新人看護師とフレッシュパートナーの関係だけでなく、病棟全体で育てることを大切にし、ともに成長できる環境を整えています。定期的に面談を行い、悩んでいることなどメンタル面のサポートを行っています。看護をもっと好きになり、看護師として真摯に患者さんに向き合ってもらいたいと思います。その軸がぶれないよう、個々の性格を見極めて、それぞれのペースに合わせた指導を心がけています。





教育・研修方針

横浜市立病院では、豊かな人間性を持ち、臨床実践能力に優れ、幅広い視野で状況判断し対応できるキャリアナースの育成を目指しています。それを支援するのが、CDP(Career Development Program)です。自己の臨床実践能力を常に点検しながら、一步一步着実に能力を高めていくために5段階で到達目標を設定。あなたの看護師としての能力やライフプランに合わせながらのキャリアアップをサポートします。



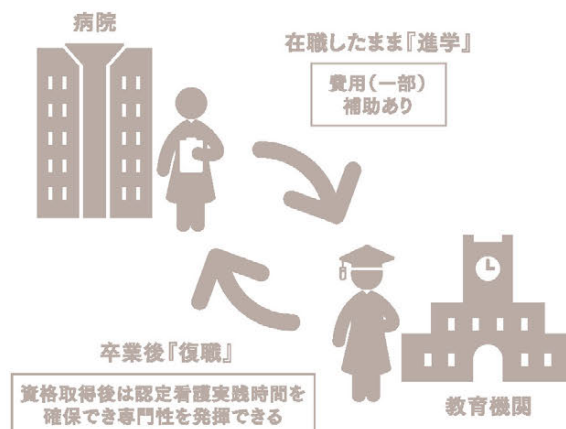
キャリアパス



進学支援制度

さらなるキャリアアップを目指す職員を応援します

横浜市立病院では、専門看護師・認定看護師・看護教育者・看護管理者・大学院の進学を目指す職員を支援する制度があります。3年以上市立病院に勤務している職員が対象で、特に病院への貢献が大きいと判断されるものについては、費用の一部を病院で負担しています。在職したまま進学できるので、安心して学ぶことができます。また、資格取得後は認定看護実践時間が確保されるため、自分の専門性を十分に発揮しながら勤務することができます。



スペシャリスト

スペシャリストは特定の領域において卓越した技能や知識を発揮できる看護師です。専門看護師は複雑な問題を抱える患者さん、ご家族に質の高いケアを提供することはもちろん、院内外の研修で講義を行ったり、相談に応じて一緒に看護の検討を行うなど様々な場面で看護師を支援しています。認定看護師は各領域の専門的な知識と技術で、患者さんの療養環境を整える一番身近なエキスパートとして活躍しています。



がん放射線療法看護認定看護師
横浜市立市民病院
2020年 資格取得

放射線治療を受ける患者さんご家族を全人的に捉えた個別的な支援によって、計画通りの治療ができるよう貢献しています。通院治療が増加している近年、その人らしく生活しながら安心して治療を受けられるような支援を心がけています。がん看護外来も担当し、困りごとに対するケアやあらゆる場面での意志決定支援など、複雑な問題にご自身で向き合えるよう、多職種チームと連携して専門的視点から支援しています。院内スタッフに対して、看護師の視点で放射線防護を語ることも大切な役割としています。スタッフ個々が放射線の安全安心を守るキーマンとなるよう、診療放射線技師と協働しています。放射線と看護をつなぐため、やりがいをもって活動しています。



集中ケア認定看護師
横浜市立脳卒中・神経脊髄センター
2020年 資格取得

同じ病棟で活躍する集中ケア認定看護師の姿に憧れ、自分自身も認定看護師の資格を取ることを決めました。患者さんの血圧が下がったときなど、以前は決められた指示に従うだけでしたが、認定看護師の資格をとったことにより、様々な視点から原因を考え、医師に提案ができるようになりました。論理的に患者さんの状態を分析し、提案する力がつきました。同僚や医師、多職種から頼りにされることも増えたと感じます。さらに、院内だけでなく、消防や看護学校などでの講義や、市民向けの講演に講師として行くこともあります。認定看護師になることで、最新の知識を常に身につけ、様々な依頼に応えることが、自分のモチベーションになっています。

専門看護師

- 精神看護専門看護師
- がん看護専門看護師
- 家族支援専門看護師

認定看護師

- がん化学療法看護認定看護師
- がん性疼痛看護認定看護師
- 感染管理認定看護師
- 緩和ケア認定看護師
- 救急看護認定看護師
- 集中ケア認定看護師
- 新生児集中ケア認定看護師
- 摂食・嚥下障害看護認定看護師
- 皮膚・排泄ケア認定看護師
- 糖尿病看護認定看護師
- 手術看護認定看護師
- 認知症看護認定看護師
- 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師
- がん放射線療法看護認定看護師
- がん薬物療法看護認定看護師

特定行為研修 修了看護師

- 血糖コントロールに係る薬剤投与関連
- 術中麻酔管理領域
- 人工呼吸器関連
- 末梢留置型中心静脈カテーテル管理関連
- 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
- 創傷管理関連
- 循環動態に係る薬剤投与関連
- 創部ドレーン管理関連
- 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連
- 動脈血液ガス分析関連

安心して『続ける』

福利厚生

卒業校一覧



自然と都会を兼ね備えた快適な新生活

横浜市では、組織としてワークライフバランス（仕事と家庭生活の調和）の推進に取り組んでいます。すべての職員がそれぞれのライフステージに合わせて「仕事」も「仕事以外の生活」も充実させることを目指しています。福利厚生面では、育児や介護を行う方を支える制度も手厚く充実しています。



撮影：森日出夫

職員寮

両病院とも、通勤に便利な職員寮を完備しています。市民病院寮は、病院へは徒歩15分以内。横浜駅周辺やみなとみらいへも好アクセスです。脳卒中・神経脊髄センター寮は、オートロックのワンルーム。周辺には、コンビニ・スーパーなども充実しています。



(市民病院)



(脳卒中・神経脊髄センター)

寮費はとってもリーズナブル!



同期も多いので、絆が深まるよ

子育て支援

両病院とも、病院の保育施設では、夜間・休日勤務も安心して働けるよう、24時間保育や土日保育を導入しています。また、育児休業制度（3歳まで）、育児時間・部分休業制度、育児短時間勤務制度など、様々な制度を活用できるため、仕事と育児のバランスをとりながら働くことができます。



にっこにっこ保育園 (0~6歳 / 市民病院)



ゆず保育園 (0~3歳 / 脳卒中・神経脊髄センター)

北海道・東北地方

北海道
札幌市立大学
名寄市立大学

青森県

青森中央学院大学
青森県立保健大学
弘前大学
弘前医療福祉大学
八戸看護専門学校

岩手県

岩手県立大学

宮城県

東北福祉大学
宮城大学
スズキ病院附属助産学校
仙台徳州看護専門学校
宮城県立白石高等学校

秋田県

秋田大学
日本赤十字秋田看護大学

山形県

山形大学
山形県立保健医療大学
山形市立病院済生館高等看護学院

福島県

医療創生大学
ポラリス保健看護学院

関東地方

茨城県

晃陽看護栄養専門学校
筑波大学大学院

栃木県

国際医療福祉大学

群馬県

群馬医療福祉大学
群馬県立県民健康科学大学
上武大学

埼玉県

埼玉県立大学
東都大学
東京家政大学
大東文化大学
日本医療科学大学
日本保健医療大学
埼玉医科大学短期大学
川口市立看護専門学校
埼玉県立高等看護学院

関東地方

千葉県

順天堂大学
千葉大学
あびこ助産師専門学校
千葉県立幕張総合高等学校

東京都

共立女子大学
駒沢女子大学
創価大学
上智大学
帝京大学
帝京科学大学
帝京平成大学
東京有明医療大学
東京医療学院大学
東京医療保健大学
東京工科大学
東京都立大学
武蔵野大学
目白大学
東京墨田看護専門学校
東京都立南多摩看護専門学校
日本赤十字社助産師学校
母子保健研修センター助産師学校

神奈川県

神奈川工科大学
神奈川県立保健福祉大学
関東学院大学
北里大学
国際医療福祉大学
松蔭大学
湘南医療大学
昭和大学
東海大学
横浜市立大学
横浜創英大学
神奈川歯科大学短期大学部
おだわら看護専門学校
神奈川県立衛生看護専門学校
神奈川県立平塚看護大学
神奈川県立よこはま看護専門学校
川崎市立看護短期大学
国立病院機構横浜医療センター
附属横浜看護学校
湘南鎌倉医療大学
湘南看護専門学校
湘南平塚看護専門学校
積善会看護専門学校
たまプラーザ看護学校
藤沢市立看護専門学校
横浜市医師会聖灯看護専門学校
横浜実践看護専門学校
横浜市病院協会看護専門学校
横浜中央看護専門学校

中部地方

新潟県

新潟大学
新潟医療福祉大学

石川県

石川県立看護大学
金沢医科大学

福井県

武生看護専門学校

山梨県

甲府看護専門学校

長野県

信州大学
長野県看護大学
長野県須坂看護専門学校

岐阜県

岐阜大学

静岡県

静岡県立大学
常葉大学
静岡済生会看護専門学校
静岡市立静岡看護専門学校

愛知県

修文大学
名古屋女子大学
日本赤十字豊田看護大学

近畿地方

滋賀県

滋賀県立大学

京都府

京都橋大学
京都先端科学大学

大阪府

藍野大学

兵庫県

関西福祉大学
園田学園女子大学
武庫川女子大学

和歌山

和歌山県立医科大学

中国・四国地方

島根県

島根県立大学

岡山県

山陽学園大学

広島県

広島国際大学
広島市立看護専門学校

山口県

山口大学
大島看護専門学校
YIC看護福祉専門学校

徳島県

徳島文理大学

愛媛県

聖カタリナ大学
宇和島看護専門学校

高知県

高知県立大学

九州・沖縄地方

福岡県

純真学園大学
聖マリア学院大学
高尾看護専門学校

佐賀県

医療福祉専門学校 緑生館

大分県

大分県立看護科学大学

宮崎県

宮崎県立看護大学

鹿児島県

鹿児島大学

沖縄県

沖縄県立看護大学
名城大学
那覇市医師会那覇看護専門学校

直近5年間に入职した職員の卒業校（卒業時の名称）です。

入职を決めた理由



横浜市立市民病院

PNS看護方式を取る市民病院であれば、ベアになる先輩の看護技術を間近で学び、不安なことも相談しやすい環境下で看護師として成長することができると思い入职を決めました。

青森県出身です。実習で脳梗塞の患者さんを受け持ちました。寝たきりで意識疎通が図れない患者さんを受け持ったことが印象深く、もっと脳について学びたいと思ったこと、教育体制が整っている病院を探していたところ、卒後3年目までフォローしているということで入职を決めました。

横浜市立脳卒中・神経脊髄センター



インターンシップ **春**

- 開催時期** 3月 **開催時間** 半日~1日
- 参加対象者** 横浜市立病院で就職を考えている看護学生
(次年度、最終学年のみ)
- プログラム** シャドーイング、病院概要説明など



インターンシップ **夏**

- 開催時期** 8月 **開催時間** 半日~1日
- 参加対象者** 横浜市立病院に関心のある看護学生
(1年生、最終学年を除く)
- プログラム** シャドーイング、病院概要説明など

病院見学(随時)

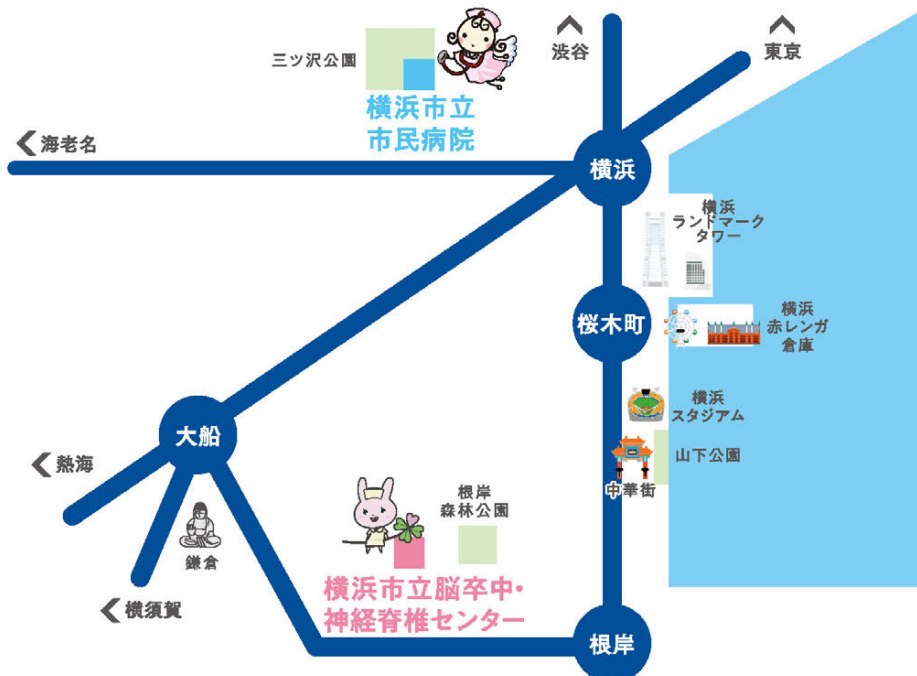
- 開催日** 原則月曜日~金曜日(随時)
- 開催時間** 10:00~12:00、14:00~16:00
- プログラム** ご希望に応じてご案内します



WEB説明会

- 開催日** 原則火曜日・木曜日
- 開催時間** 17:00~18:00
- プログラム** 病院・看護部概要や先輩看護師による病棟紹介

MAP



イベント・採用に関する問い合わせ

横浜市医療局病院経営本部 人事課

TEL 045-671-4822 [平日 | 月~金]
8:45~17:00

by-saiyo@city.yokohama.lg.jp **横浜市看護職員 採用**

